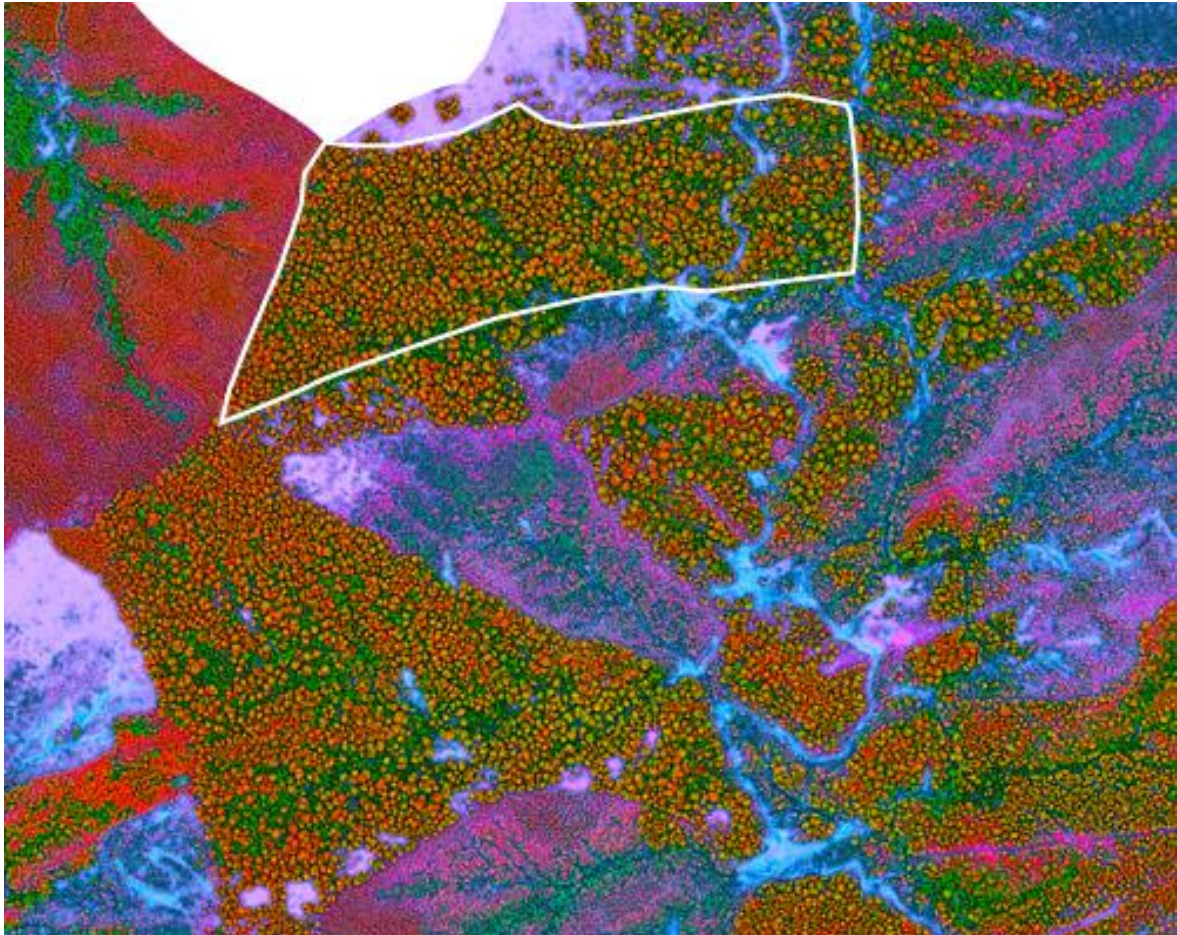


雁巻ヤナセスギ(遺伝資源)希少個体群保護林



「雁巻山」は「千本山」と並ぶヤナセスギの保護林です。千本山と比べ訪れる人は希であり知られていませんが、千本山と同じくヤナセスギの巨木が林立しています。

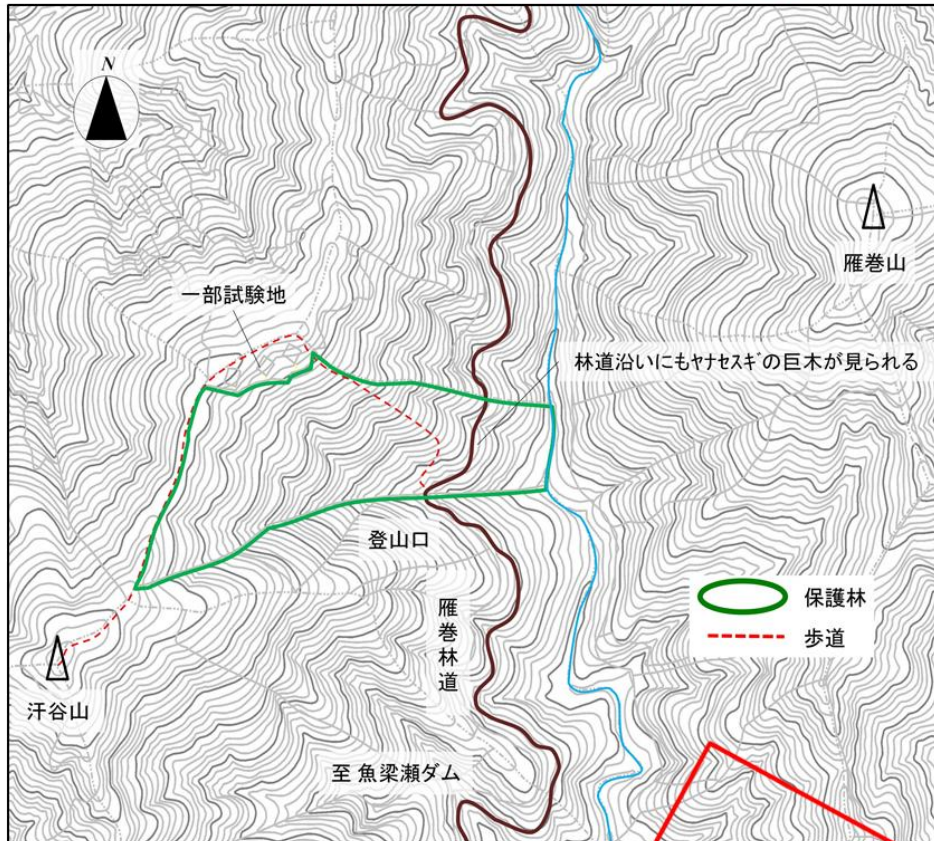
雁巻林道の上下にそびえ、陽光を一身に浴びたヤナセ天然スギは、空の青さと広さに比例して、ただただ圧巻です。



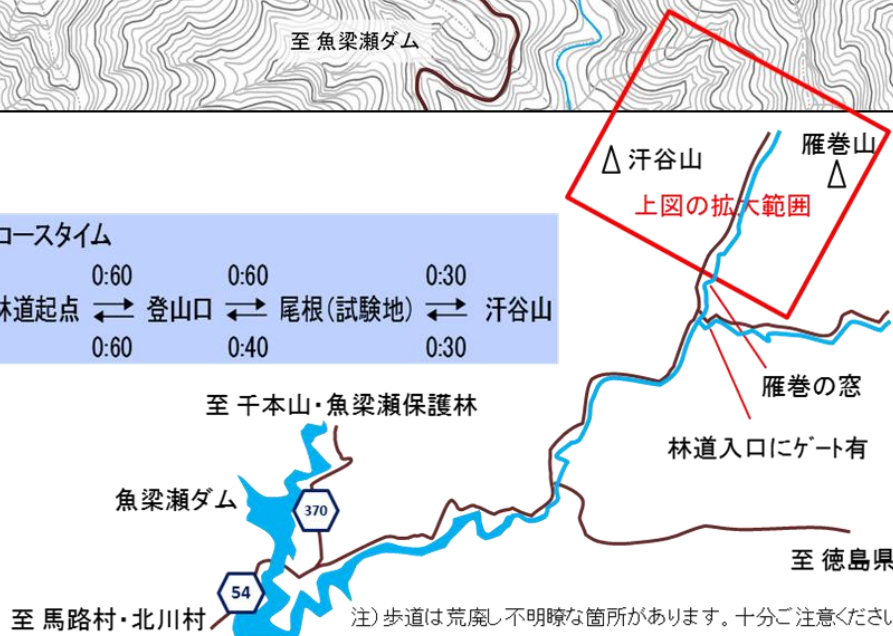
- ▲航空レーザ計測で現れた雁巻山ヤナセスギ(遺伝資源)希少個体群保護林(白線内)
保護林内は、周辺の山より樹冠が大きく、樹高が高いことが分かります。
また、周辺には保護林と同じようなヤナセスギが多数生育していることも分かりました。

【保護林マップ】

雁巻山ヤナセスギ (遺伝資源) 希少個体群保護林マップ



参考コースタイム			
	0:60	0:60	0:30
雁巻林道起点	↔ 登山口	↔ 尾根(試験地)	↔ 汗谷山
	0:60	0:40	0:30



雁巻林道は施錠されています。通行を希望される方は安芸森林管理署へお問い合わせください。

(注) 雁巻林道は平成 23 年の台風の影響により、現在は起点付近から車の通行ができません。

【上空から見た保護林】

雁巻山ヤナヒスキ` (遺伝資源) 希少個体群保護林



森林鉄道遺産である「雁巻の窓」から少し奥（上流）に位置しています。
(2012年3月22日撮影)

【スギの特徴】

日本の固有種で九州から東北まで分布しています。

一般にヒノキより成長が早く、幹もまっすぐ伸びるため人工林として最も植栽される樹種です。



スギの幹（雁巻山保護林にて撮影）

樹皮は赤褐色で縦に厚くはがれます。ヒノキと同じく檜皮茸の材料として利用されます。



スギの葉（雁巻山保護林にて撮影）

葉は1cmほどで、鎌形の葉がらせん状につきます。線香や杉玉として利用されることがあります。



スギの雄花と雌花（雁巻林道にて撮影）

2月から4月ごろにかけて大量の花粉を飛ばします。